

授業科目名	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（応用）(35109)		
時間割担当	岡村季光		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	水・5		

授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

学習の到達目標

- ・卒業論文または卒業レポート課題を作成する。
- ・論理的な構成で、説得力のある発表を行う
- ・グループ討議や相互批評を通して、アカデミックスキルを高める

授業方法・形式

- ・具体的なテーマを決定し、学生自身が考え、調べてまとめ、最終的に発表するまでを主体的に行う。
- ・調査、観察などを含む情報収集方法、ブレインストーミング、プレゼンテーション、意見交流など多様な活動を行う。
- ・心理学や関連領域以外の知見を広げるため、他のゼミとの合同ゼミを行う場合もある。

授業計画

【前期】

第1回 ガイダンス：これまでの取り組みについて
以降、調査に関する準備として、文献講読や中間発表を行う。または統計の実践的な活用法を学ぶ。

【後期】

第1回～第14回 卒業論文あるいは卒業レポート課題の完成に向けた取り組み
第15回 卒業論文あるいは卒業レポート課題に発表

ただし、都合により変更の可能性もあり。

成績評価の基準

積極的な授業参加，プレゼンテーション，卒業論文あるいは課題内容を総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

- ・卒業論文や卒業レポートにおける準備を行うために、積極的に情報収集・構想・執筆を行うこと。
- ・統計の基礎的な学習を授業外でも自学すること。

履修上のアドバイス及

この1年間は、卒業論文や卒業レポートを形にする作業になります。
関心のあるテーマに基づき、4年間の学びの集大成を完成させていきましょう。
また、他者の研究発表が貴重なヒントを見いだすこともあります。他者の発表を他人事としてみなさず、積極的に意味を見いだす態度をとることを求めます。

教材・教科書

必要に応じて、授業中に指示します。

参考書

必要に応じて、授業中に指示します。